

(社) 日本建築学会 近畿支部
2014 年度第 1 回空気環境部会議事録

日時：2014 年 5 月 8 日（木）16:30－18:30

場所：大阪市立大学 梅田サテライト講義室 105 教室

出席者：東（実）、安福、阿部、小城原、河野、竹田津、檜崎、藤田、桃井、
山中（主査）、萬羽（幹事）、小林（幹事、記録）

資料：・議事次第	資料 1-0
・2013 年度第 5 回空気環境部会議事録（萬羽幹事）	資料 1-1
・2013 年度第 6 回空気環境部会報告書	資料 1-2
・部会員名簿更新について	資料 1-3-1
・日本建築学会近畿支部 空気環境部会 部会員名簿（H26.4.30 現在）	資料 1-3-2
・研究部会の改革についてのお願ひ	資料 1-4
・平成 26 年度 部会予算請求書・部会費用決定通知	資料 1-5
・REHVA Guidebook No.19・Mixing Ventilation 目次	資料 1-6

議事：

0. 議事録確認（資料 1-1）

- ・前回議事録の確認が行われ、承認された。

1. 第 5 回空気環境シンポジウムの報告（資料 1-2）

- ・萬羽幹事より、第 5 回空気環境シンポジウムの実施報告及び会計報告があった。

2. 部会員名簿について（資料 1-3-1、資料 1-3-2）

- ・山中主査から、当部会所属の委員に関して、継続の意思確認を行うという提案があった。
→実状に沿った委員構成とすることが目的で、所属委員は原則として近畿圏で活動していて参加の意思がある研究者とするが、近畿圏外の機関所属でも参加意思があれば継続頂く方針とする。
→今後、山中主査から委員に委嘱のメールを送信し、次回の部会で状況報告をすることとなった。

3. 研究部会改革について（資料 1-4）

- ・近畿支部から下記の趣旨での部会改革についての依頼があったと山中主査より報告があった。
 - 1)：部会行事を開催する場合、その都度部会員以外にも案内を送る。
→当部会では見学会、勉強会がこれに該当する。
 - 2)：支部個人会員は自由に部会に入会できることとし、40 歳以下の会員にはいずれかの部会に必ず所属してもらうこととする。
 - 3)：各常置部会の中で、40 歳以下の会員が活躍できる場をつくる。

→上記の 2)と議事 2 の委員構成再編は矛盾する可能性があるが、若手については継続的な参加が難しい場合でも委員を継続してもらう方針で問題は無い。

- ・上記 3)の部会内での若手活躍の場について意見交換が行われた。
 - 小部会名の案は「空気環境部会 U40 小部会」として、企業所属の若手会員にも多く参加頂く。
 - 活動内容の案
 - 1：見学会（年 1 回）
 - 2：講演会（若手技術者交流会）（年 2～3 回程度）
 - 3：企業研究会（年 1 回）→学生も参加可能
 - 小部会設立の中心メンバーは現部会員が望ましいため、小林幹事と萬羽幹事が当該小部会の主査・幹事となって立ち上げるが、若手の部会員が今後増えた場合には民間からも運営に携わってもらう方針とする。
 - 設立は少し先の時期（例えば今年度中）とするが、次回部会に設立趣旨書の案を出して審議する。

4. 今年度の計画（案）

- ・昨年度実施した ISO の和訳を完成。
 - 前年度からの積み残しでもあるため実施する。
 - ・産業換気
 - 表に出るデータがなかなか無いため難しくはあるが、室内環境としては問題が潜在していることが多く、興味深いテーマではある。
 - ・微生物
- 引き続き議論を行い、次回の部会で決定する。

5. 平成 26 年度 日本建築学会 空気シンポジウムの案内

- ・9 月 11 日（木）13:00 開始、六甲山ホテルにて日本建築学会 空気シンポジウムが開催。
建築学会 HP 中の空気環境運営委員会のページに PR として掲載されている。

6. Mixing Ventilation No.19 について

- ・桃井委員より空気調和・衛生工学会の換気性能小委員会で標記の上記書籍の和訳を実施する予定であると報告があり、必要な委員には和訳文の提供が可能であると案内があった。

7. その他

- ・次回部会

日時：2014 年 7 月 24 日（木）14:00～15:00

場所：大阪市立大学 梅田サテライト講義室 104 教室

部会内容：今年度計画の決定、U40 小部会設立に向けての議論、委員からの話題提供

以上